



板橋区産業振興構想2035

1. 構想策定の目的と構想の期間

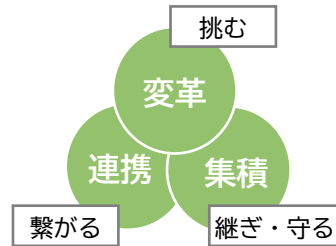
人口減少、脱炭素化、ライフスタイルの多様化、原料・資材の高騰、地政学リスクの高まり、急速なAI技術の進展など、社会情勢の大きな変化により、区内産業を取り巻く経済環境は先行きの見通しが不透明な状況にあります。

この状況を踏まえ、今後も長期的に区内産業が発展を続けられるよう、区内産業の現状と産業振興を巡る世の潮流を踏まえた、板橋区の産業振興政策の指針となる「板橋区産業振興構想2035」を策定します。

上位計画にあたる「板橋区基本構想」に合わせ、「板橋区産業振興構想2035」の構想期間は、令和8年度を初年度とした令和17年度までの10年とします。

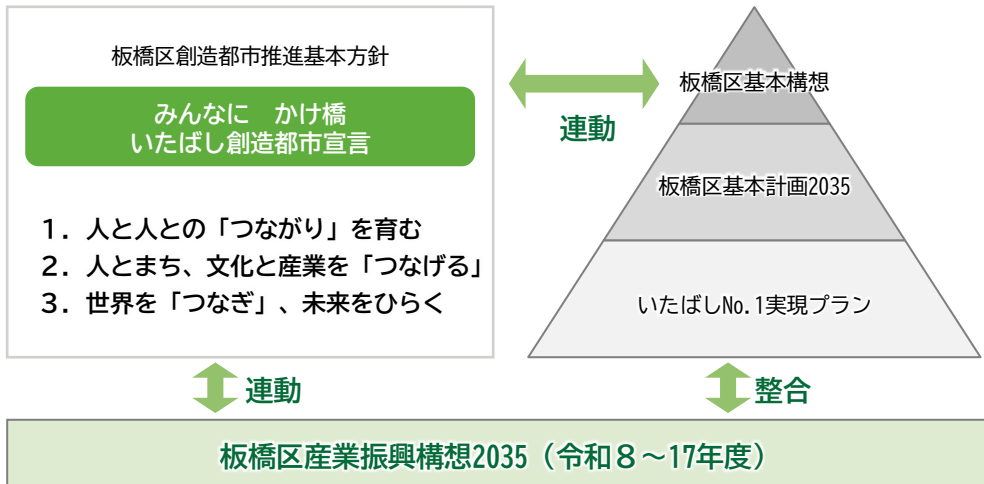
2. 構想の策定方針

「板橋区産業振興構想2035」は、「**変革**」「**連携**」「**集積**」を基本的な視点とし**成長志向の産業育成**に取り組んでいきます



3. 構想の位置づけ

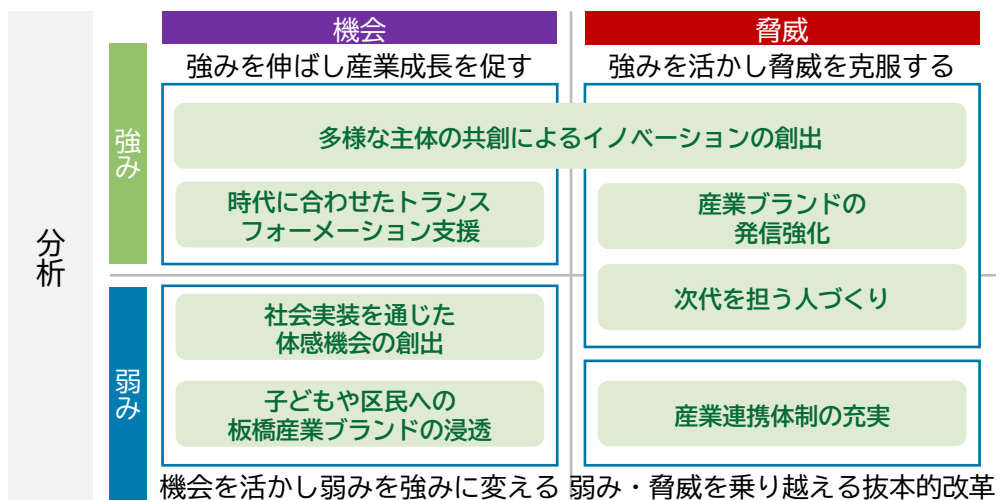
本構想は、上位計画との連携・整合を図り、産業分野の目標達成をめざす個別計画として位置づけます。



4. 調査・分析

板橋区産業の強み・弱みと、産業振興を取り巻く世の中の流れにおける板橋区にとっての機会・脅威を調査し、今後の板橋区産業に求められる戦略を導出しました。

区内産業の現状	強み	工業を中核とした多様な産業	板橋区ならではのストーリー	都内外を繋ぐ結節点	光学の競争力の高さ
	弱み	創業者数の低迷	付加価値に繋がる企業間連携の不足	人材不足・後継者不足	生活の中で産業に触れる機会の減少
調査②…産業振興に係る世の潮流	機会	イノベーション創出による競争力の獲得	光学関連市場の成長	データ活用等による事業領域の拡大	
	脅威	事業者間でのエコシステム形成の必要性	人材の奪い合いの加速	高度なデータ活用の必須化	



機会を活かし弱みを強みに変える 弱み・脅威を乗り越える抜本的改革

5. 2035年の板橋区産業の将来像

多様な産業が集積・発展し生み出してきた板橋区らしい魅力や強みを活かし、2035年の将来像に「新たな発見に出会える、ブランド創造都市」を掲げ、産業振興に取り組めます。

2035年の将来像

新たな発見に出会える、ブランド創造都市



産業によって生活が
便利に・豊かになっている



新しいビジネスパートナーが
すぐに見つかる



区民・子どもが産業を
好きになっている

多様な産業の集積が維持され
板橋区の産業ブランドが
生まれている



成長のための挑戦が
応援される



欲しい人材が見つかり
リーダーが生まれている



新しい仲間と
イノベーションを生み出している

産業が成長を続ける
循環が出来る

ブランドを確立し
「板橋区産」・「板橋区発」が
付加価値となり

多くのイノベーションが
創出されることで

新たな出会いを通じて

ブランド創造都市の状態

ブランド創造都市へのステップ

6. 将来像実現に向けた方向性と「注力分野」

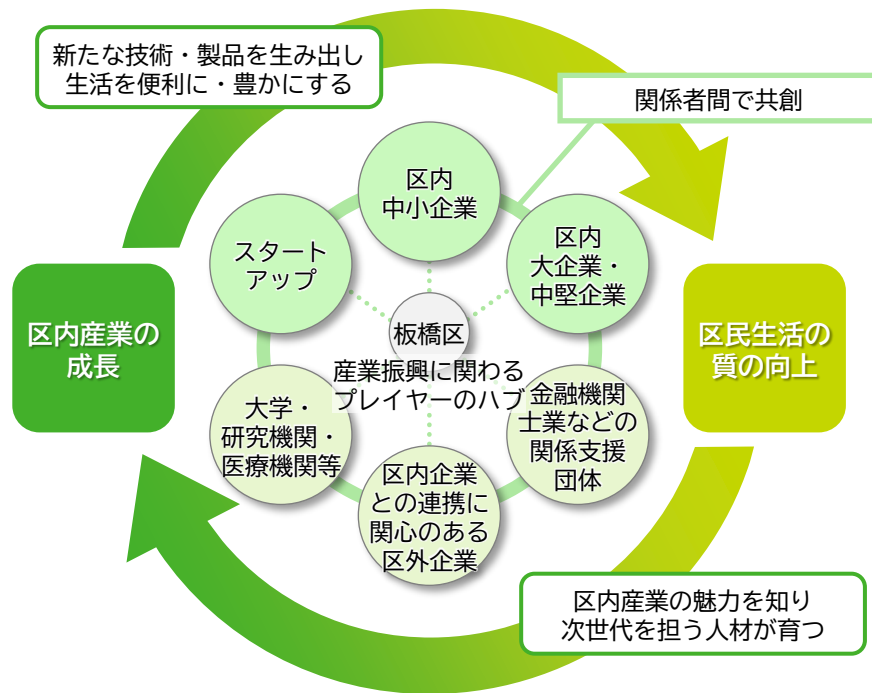
区が産業振興に関わるプレイヤーのハブとなり連携を強化することで、産業の成長と区民生活の質の向上が循環するブランド創造都市をめざします。また、将来像を実現するために、区独自のイノベーションを加速させる「注力分野」を定めます。

2035年の将来像

新たな発見に出会える、ブランド創造都市

めざす姿

ブランド創造都市となり産業の成長と区民生活の質の向上が循環する



将来像実現に向けた方向性

イノベーションを加速する原動力となる「注力分野」の設定

イノベーションを起点とした成長志向の産業育成

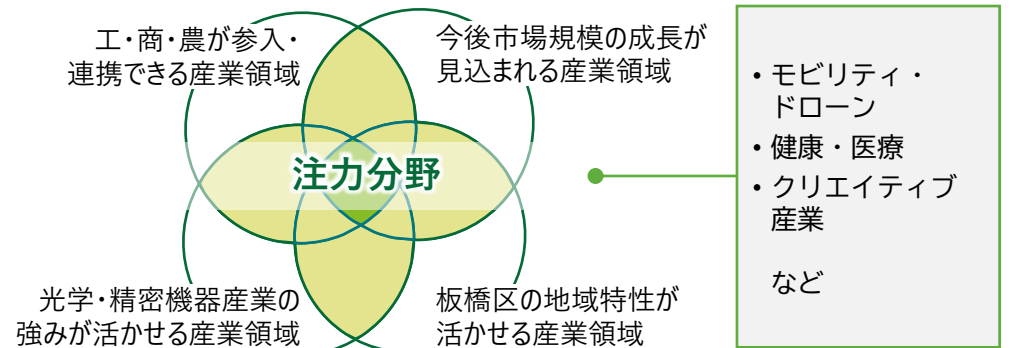
さらなる成長

将来像

時代の変化を乗り越える産業基盤の強化

産業振興の土台作り

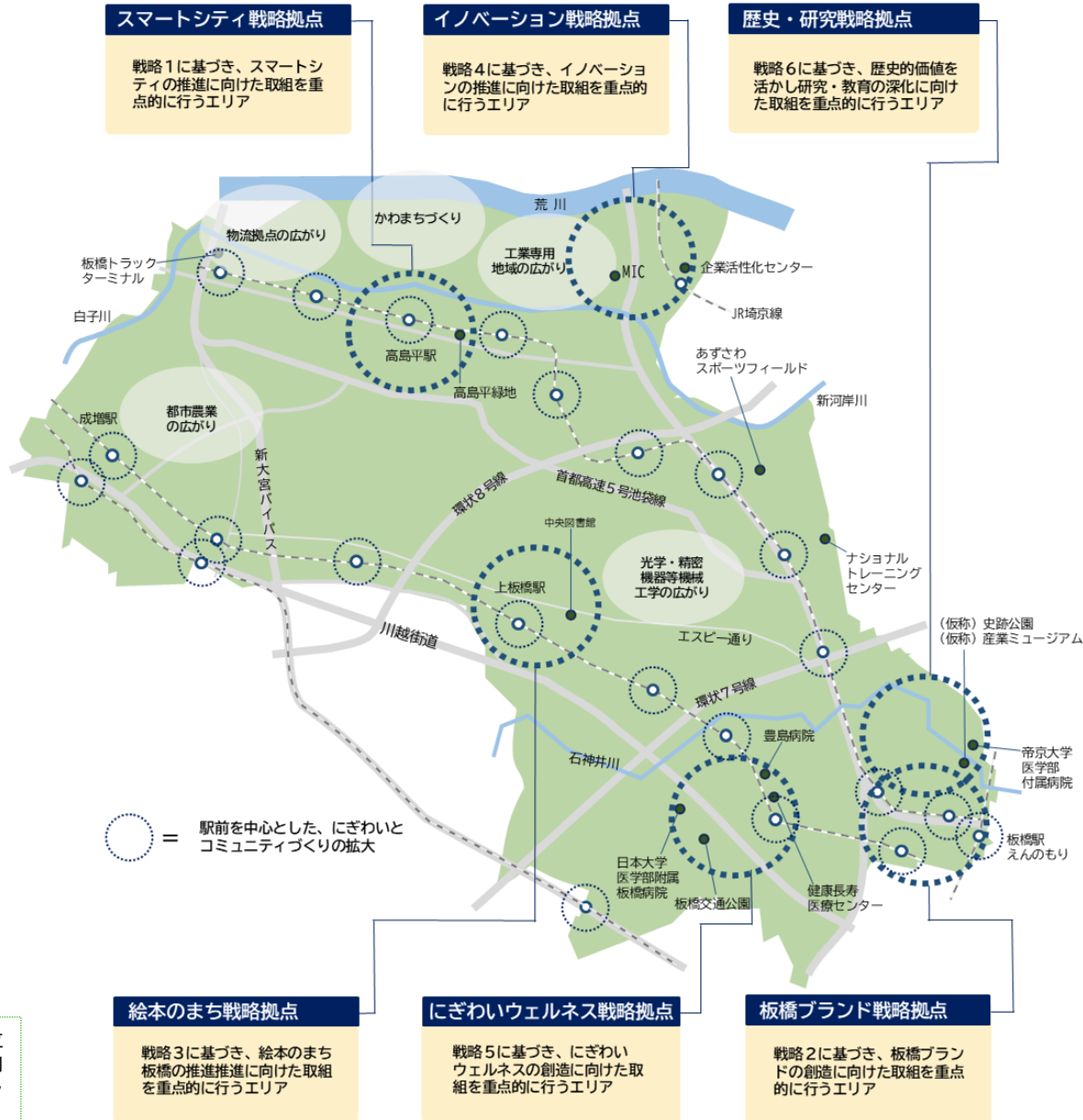
「注力分野」の設定



7. 人とまち、文化と産業を「つなげる」、創造都市の実現に向けた産業戦略

住民、NPO、企業、団体など、多様な主体との交流・対話を重ね、地域資源の潜在的な価値を活用しながら、持続可能な地域社会を共に創造します。そのために、6つの戦略を推進します。

-区産業の特徴と資源-



戦略1
～快適なライフスタイルと産業の未来を創造する～
板橋区らしいスマートシティの実現

戦略2
～世界につながる板橋ブランドを創造する～
交流・発信の場の充実

戦略3
～ウェルビーイングの実現をデザインする～
絵本のまち板橋の推進

戦略4
～技術を継承し新たな価値を創造する～
イノベーションの推進

戦略5
～人とまちのつながりと愛着を生み出す～
にぎわい・ウェルネスの創造

戦略6
～歴史が育むテクノロジーを創造する～
研究・教育の深化

8. 将来像を実現するための3つの柱と7つの施策

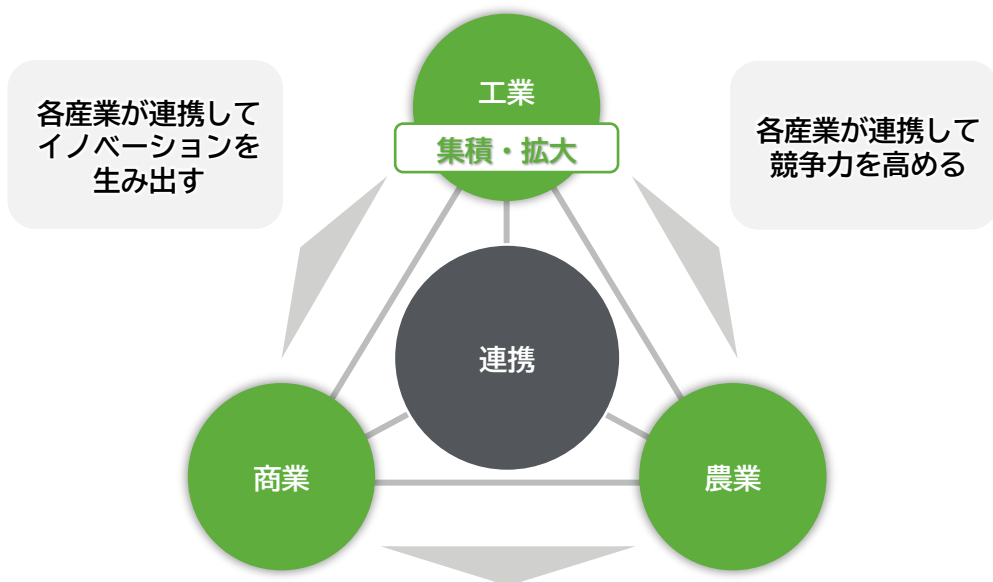
将来像「新たな発見に出会える、ブランド創造都市」を実現するために、3つの柱に基づく7つの施策と15の取組を推進します。



9. 業種間での連携強化と各業種の方向性

工業が中核でありつつ、工業・商業・農業と多様な産業が集積する板橋区においては、**工業を起点とした工・商・農の連携を促進**することで、産業全体の競争力強化と、区民生活と産業の融和につなげます。

また、業種間で連携を促進することを前提に、板橋区の主要産業である工業・商業・農業の特徴に基づき、**各産業の役割と方向性を定める**ことで、板橋区産業全体の成長を実現します。



各産業が連携して区民へ板橋区産業の魅力を伝える



魅力を知り
板橋区産業への
愛着が生まれる



工業

区内産業の中核を担う存在であり続ける

- 工業集積の維持・拡大
- 区内のイノベーション創出のけん引
- 新たな物流網の構築による産業の成長

光学・精密
機器産業

国内のトップ産業をめざし区内産業の成長をけん引する

- 成長分野でのイノベーション創出
- 国内外の広域ネットワークの強化
- 区内の看板としてのブランド強化

印刷・
同関連業

地場産業としての伝統を守りつつ変革のモデルとなる

- 新技術への注力やソリューションビジネスへの転換
- 絵本産業の創出による高い技術力の維持・発展と稼ぐ力の強化

商業

事業者が垣根を越えて連携し新たな消費者を獲得する

- 継続した商店街の組織力強化
- 個店の集客力と経営力の強化
- 垣根を超えた連携の促進

農業

新たな農の価値創造により区民生活に彩りと豊かさをもたらす

- 継続した農地保全と農業人材育成
- 新たな「農との触れ合い機会」の創出
- 都市農業への挑戦

10. 「板橋区産業振興構想2035」の成果指標

本構想の達成状況を評価するために、**区として大事にするべき3つの観点を踏まえて、板橋区独自の成果指標を設定します。**
 また、**施策・取組のさらなる加速や見直し等ができる評価・推進体制を組成し、各成果指標の調査結果と本構想で見直した内容は定期的に公表し、区内外の事業者・団体・ひとと共に将来像の実現をめざします。**

達成状況の測り方



評価・見直しサイクルと
評価・推進体制の主な構成員

1 取組事例の見える化イメージ



まちづくり
社会実験を始動!

共創によるイノベーションと
街の中での実証実験をサポート



板橋版ウィンメル
ブックが完成!

区内印刷事業者と連携し
「絵本のまち板橋」
プロジェクトを推進



いたばし産業見本市
テクノロジープレイ
パークを拡充!

区と連携する
東京大学生産技術研究所や
宇宙線研究所などの
コラボワークショップを実施



新河岸工業会と
コラボした
ファクトリーツアーを開催!

地元企業と連携した
次世代教育プロジェクトとし、
まずは新河岸エリア
からスタート

2 KPIの設定

KPIは以下の観点を重視して設定し、設定したKPIと達成状況は定期的に公表します

区の産業振興施策の
成果が反映され
真摯に結果に向き合う
ことが出来る

目標値の達成が
産業の発展に
つながっている
ことが実感できる

区と事業者が共に
目標値の達成に向けて
取組める

